

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----------------|------------------------------|---|--------|--|
| 家計動向関連 (中国) | 良く なっている やや良く なっている | コンビニ（エリア担当） | 販売量の動き | ・菓子パンを中心に単価の高いものが売れ、販売量の動きが良い。 |
| | | 衣料品専門店（地域ブロック長） | 販売量の動き | ・気温が低下したことによって衣類の需要が伸びている。 |
| | | 自動車備品販売店（経営者） | 販売量の動き | ・季節商材が動き出したが、前年よりは下回る。 |
| | | その他専門店〔和菓子〕（経営者） | 来客数の動き | ・例年以上に修学旅行の学生が多くなっている。 |
| | | 都市型ホテル（スタッフ） | お客様の様子 | ・宿泊の予約は順調で、連休の予約が早くから埋まっている。 |
| | | ゴルフ場（営業担当） | お客様の様子 | ・リピーター率が上り、プライベートコンペの数が増えている。 |
| | | 設計事務所（経営者） | お客様の様子 | ・新しい仕事の引き合いが増えて来ており、消費税増税前に建築を検討しているという相談が中心となっている。しかし、具体的な計画に入かどうかまだ様子を見ている。 |
| | | 住宅販売会社（営業担当） | 来客数の動き | ・気候的なものもあるが、問い合わせ件数や客の動きから、購買意欲が高くなっている。例年であれば今から動きがない時期なので、今の様子が続くようであれば上向いている。 |
| | 変わらない | 商店街（代表者） | 販売量の動き | ・客の購入単価が低下しており、必要最小限だけを購入する傾向が顕著になっている。 |
| | | 商店街（代表者） | 販売量の動き | ・北海道と東北の物産を売る2店舗を合併させ、売上は2店舗分を保っている。 |
| | | 一般小売店〔靴〕（経営者） | 販売量の動き | ・商店街の空き店舗が増えたり、新店がオープンしてもすぐ閉店したりと落ち着かない様子である。各々の店の魅力が薄れ、来客数、売上ともに落ちている。 |
| | | 一般小売店〔酒店〕（経営者） | 販売量の動き | ・農繁期が影響しているのか飲食店の売上の数字が良くない。来客数に変化がみられない。 |
| | | 百貨店（営業担当） | 販売量の動き | ・気温の低下時期が遅かったため10月に入ってから実需が高まったが、一方でヒットアイテムに乏しいため来客数の伸張は鈍い。 |
| | | 百貨店（営業担当） | お客様の様子 | ・売上が今一つで、秋のクリアランスを行うブランドが増え、新しいことをやらないと数字が上がらないほど厳しい状況である。 |
| | | 百貨店（販売促進担当） | 単価の動き | ・先月は低迷し厳しかった宝飾、美術の動きは復調してきている。ただ紳士婦人を中心とした秋物ファッションについては、ヤングゾーンは復調するものの、紳士、婦人高級ゾーンの動きは依然厳しくやはり価格が購買決定における重要な要素となってきた。 |
| | | 百貨店（購買担当） | お客様の様子 | ・気温は下がりつつあるが、日中の暑さによって衣料品関係の OUTER ものは厳しくなっている。客は買物よりも旅行に金を使う傾向にあり、食品関係でも様々なイベントを行っているが、現地で食すという行動が増えてきたようで、北海道物産展でさえ前年の数字をキープするのがやっとで、大幅な売上増にはなっていない。 |
| | | 百貨店（売場担当） | お客様の様子 | ・弊社は来年2月で閉店予定であり、閉店セールが始まっていないにもかかわらず連日多くの来客があり、売上は好調だが、当社の特殊性を除けば景気状況に変化はない。 |
| 百貨店（売場担当） | 販売量の動き | ・絨毯やハンドバッグは売れるが単価が低い。 | | |
| 百貨店（営業推進担当） | お客様の様子 | ・来客数や、買上単価にあまり変化がない。 | | |
| スーパー（店長） | 来客数の動き | ・ここ半年は来客数が前年の98～99%で推移している。 | | |
| スーパー（総務担当） | 単価の動き | ・客数と買上点数は、若干上昇傾向であるが、単価にはさほど動きがなく、安価な商品が売れている。 | | |
| 衣料品専門店（経営者） | お客様の様子 | ・増税等の問題があり、今のうちに買物をしておこうと一時的に客の購買意欲が高まってはいるが、あくまで一時的な感じである。 | | |
| 家電量販店（店長） | お客様の様子 | ・客の商品に対する気持ちが冷えている。財布のひもが固いというよりも、先行き不透明な状況を危惧している。 | | |

| | | | |
|-----------|-----------------------|---------|---|
| | 家電量販店（販売担当） | 来客数の動き | ・来客数の減少は厳しい。 |
| | 乗用車販売店（店長） | 競争相手の様子 | ・商談をしていても競合がなく、明らかに他社も売れていない。 |
| | その他専門店〔海産物〕（経営者） | 来客数の動き | ・島根のイベント「神話博しまね」は来客数が多いようだが、時間がないようで境港までは立寄ってもらえず、依然として団体の客は低調となっている。 |
| | その他専門店〔ファッション雑貨〕（従業員） | 来客数の動き | ・平日の来客数が激減している。土日の集客はあるが、財布のひもが固く売上にはつながっていない。 |
| | 一般レストラン（経営者） | 来客数の動き | ・来客数は微増で、単価も上がっているが、景気が良いというわけではない。 |
| | 観光型ホテル（支配人） | 販売量の動き | ・今月は大型宴会があったため、宴会部門は前年を大きく上回った。反面、宿泊客の伸び悩みにより宿泊・飲料部門は前年に比べマイナスとなっており、トータルでは前年並みとなっている。9月以降、宿泊売上に陰りが出ている。 |
| | 都市型ホテル（企画担当） | 来客数の動き | ・景気を押し上げる環境、材料がない。政府の新たな景気対策を期待している。 |
| | 通信会社（企画担当） | 単価の動き | ・単価において、低価格のみが売れるという傾向でなく、中高価格帯もばらついて販売が出る傾向にある。 |
| | 通信会社（営業担当） | 単価の動き | ・支出金額を抑えるプランでなければ客に受け入れられる環境にない。 |
| | 通信会社（総務担当） | お客様の様子 | ・新規購入には控えめだが、割引商品に対する興味が大きくなっている。 |
| | テーマパーク（管理担当） | 来客数の動き | ・来館者数推移に変化がない。 |
| | テーマパーク（広報担当） | 来客数の動き | ・旅行会社の募集ツアーの申込が少なく催行されないケースが例年より多くみられる。団体旅行を中心に周辺エリア全体で観光客が減少しており苦しい時期が続いている。 |
| | その他レジャー施設（アミューズメント） | 単価の動き | ・来客数は前年を上回っているが、客単価が大幅に下回っている状態が変わらない。少しだけ遊んで帰る客が多くなっている。 |
| | 設計事務所（経営者） | 競争相手の様子 | ・同業種の受注状況は一部の業者は安定した受注を確保しているが、全体的には受注に苦しんでおり、回復の気配が見受けられない。 |
| | 設計事務所（経営者） | お客様の様子 | ・変わらないというより良くなる兆しが全く見受けられない。 |
| | 設計事務所（経営者） | お客様の様子 | ・住宅の耐震診断やリフォームの相談はあるが、いざ工事となると、工事内容も少な目で、財布のひもが固いと感じる。 |
| | 住宅販売会社（従業員） | 販売量の動き | ・販売量においては、横ばい状態が続いている状況にある。 |
| | 住宅販売会社（販売担当） | 販売量の動き | ・特に住宅市場においては、受注が伸びている状況にはない。 |
| やや悪くなっている | 商店街（理事） | 来客数の動き | ・政治不信で先行き不透明な中、買物をする楽しみがなく、来客数も減少している。 |
| | 商店街（代表者） | 単価の動き | ・売上は低迷している。消費税増税等の影響で客の買い控えが続いている。 |
| | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・一番の稼ぎ時のランチタイムに以前ほどの来客がない。近所の従業員に聞くと、近くのコンビニで昼は済ますし、夜はもう外に食べに行かない。極力切り詰めている様子がよくうかがえる。 |
| | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・10月に入っても秋らしさがなく、来街者は多い割に来店数が少なく、買い控えの傾向が強く特に衣料関係の売上が厳しい状況にある反面、一部高額品の販売は堅調である。 |
| | 一般小売店〔印章〕（経営者） | 来客数の動き | ・店舗のリフォームをしながらの営業となっているので、来客数が減少し売上も落ちている。 |
| | 一般小売店〔酒店〕（経営者） | 販売量の動き | ・料飲店の販売量がさらに落ちており、外食を控えている傾向がみられる。 |
| | 一般小売店〔紙類〕（経営者） | 来客数の動き | ・地元の客は少なく観光客も減少し景気は悪い。 |
| | 百貨店（営業担当） | 販売量の動き | ・今月は昨年同月比で100%を超えている店舗は、約25%程度で、先月を下回っている。暖かい日が続き、アウターが売れないことが大きな要因である。館全体の売上も、昨年同月比で90%となっており、各店舗ともお手上げ状態である。暖かいため、飲食やサービス系は比較的堅調であるがアパレルが悪くなっている。 |

| | | |
|---------------------------|--------|--|
| 百貨店（売場担当） | 販売量の動き | ・10月に入り暖冬傾向で気温が高めに推移し、主力の衣料品のアウター関連が苦戦している。中国の影響もあってブーツの納期遅れも目立ち、洋品を含め季節物の売上が全般に苦戦している。 |
| 百貨店（販売担当） | 販売量の動き | ・月後半からの気温の低下に伴い、重衣料も少しずつ動き始めたが、例年と比較すると秋冬物の動きが非常に鈍く前年からも大きく売上を落としている。 |
| スーパー（店長） | 販売量の動き | ・客単価が落ちている状況である。 |
| スーパー（店長） | 販売量の動き | ・来客数の減少以上に、客1人当たりの買上点数が減少している。必要以上の買物をしないという節約志向がうかがわれる。 |
| スーパー（店長） | 単価の動き | ・農産物の単価が昨年と比べ70%と下落傾向あり、売上額が上がらない。 |
| スーパー（店長） | 来客数の動き | ・来客数が前年割れとなっている。 |
| スーパー（業務開発担当） | 販売量の動き | ・来客数は増えているものの、野菜類の単価安と販売点数が落ちている。 |
| スーパー（販売担当） | 来客数の動き | ・ここ数か月前年同月比92%と来客数が減少し、それに伴う販売点数の減少傾向は変わっていない。打開に向け近隣の店舗と共同でイベント等も試みてはいるものの効果は得られずにいる。 |
| スーパー（財務担当） | 来客数の動き | ・9月までは、買上点数の減少はあったものの、来客数は前年並みを確保していたが、10月に入り来客数が前年を1%程度下回っている。 |
| スーパー（管理担当） | 来客数の動き | ・現在、来客数の減少は微動だが、上がってくる兆しは見られない。 |
| コンビニ（エリア担当） | 販売量の動き | ・来客数と売上がなかなか上がらない。来客数が今月は前年比97%、売上94%で客単価が落ちているが、その原因が不明である。 |
| コンビニ（エリア担当） | 来客数の動き | ・来客数は増えず単価が減少傾向にある。 |
| コンビニ（副地域ブロック長） | 来客数の動き | ・既存店の来客数は前年比95%と前年割れが継続している。 |
| 衣料品専門店（地域ブロック長） | 来客数の動き | ・来客数が非常に悪い状況で、必要品のみを購入する傾向なのでセール以外で増える見込みもない。 |
| 家電量販店（企画担当） | 来客数の動き | ・明らかに来客数が減ってきている。 |
| 乗用車販売店（統括） | 販売量の動き | ・9、10月の販売状況を見ると9月は前年同月比86%、10月は87%と大変厳しい状況が続いている。 |
| 乗用車販売店（副店長） | お客様の様子 | ・エコカー補助金が終了し、季節柄、客は行楽の方にお金をかけている感じがある。 |
| 住関連専門店（営業担当） | 来客数の動き | ・客単価が下がっている。 |
| その他専門店〔時計〕（経営者） | 来客数の動き | ・消費者のニーズが多様化し、また、販売チャンネルも増え、単に景況だけではなく売上の分散が生じている感じがする。 |
| その他専門店〔布地〕（経営者） | お客様の様子 | ・昨年より来客数が減少し、他業種の話では全体的に来客数が減っている。 |
| その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人） | 販売量の動き | ・前半、気温の高い状況が続き、秋冬商品の動きが鈍かったが、後半の気温低下の状況でも活発な消費には繋がっていない。特に家電製品等の高額商品のニーズは薄く、日用品の必要買い中心の買物になっている。 |
| 高級レストラン（スタッフ） | 来客数の動き | ・平日の夜と週末の来客数が少ない。 |
| 一般レストラン（経営者） | お客様の様子 | ・客単価減少に歯止めが効かない。客の内食志向が強く、セールスの効果も薄れている為、同じ来客数でも売上の減少が続いている。 |
| 一般レストラン（エリア担当） | 来客数の動き | ・ランチタイム、ディナータイムともに集客減となっており厳しい状況となっている。 |
| 一般レストラン（外食事業担当） | 来客数の動き | ・来客数は今年の95%を下回る店舗があり、リピート率も下がり、外食の頻度は落ちている。ランチはコンビニエンスストアとの競合で厳しい状況である。 |
| その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（支配人） | 単価の動き | ・客は減っているようには見えないが、低額商品が良く動き、高額商品にはなかなか手が出なくなっており、スナック商品も落ち込み、衝動買いも減っている。 |

| | | | | |
|------------------------|-----------|-----------------------------------|---|---|
| | | 都市型ホテル (総支配人) | 来客数の動き | ・観光客の先行予約状況において、前年に比べ3～5%のマイナスで、山陰地区への観光客の入込は相変わらず厳しい状況が続いている。 |
| | | 都市型ホテル (企画担当) | 来客数の動き | ・レストランの来客数が下半期から急に悪くなっている。 |
| | | 旅行代理店(経営者) | 販売量の動き | ・相変わらず尖閣諸島問題で中国旅行が激減し、客の動きも悪くなるばかりである。韓国旅行は少し戻ってきている。 |
| | | タクシー運転手 | お客様の様子 | ・選挙が終わった日の夜の街ににぎわいがなかったので良くない。 |
| | | タクシー運転手 | 来客数の動き | ・今現在観光客は増えているが、出張客や夜飲食店に出かける客が減っている。 |
| | | 通信会社(広報担当) | 販売量の動き | ・他社商品にかなり押されている状況にある。 |
| | | 競艇場(職員) | 来客数の動き | ・8月は盆レースで集客と売上が良かったが、今後は通常のレースとなる。 |
| | | 美容室(経営者) | 競争相手の様子 | ・閉店する店が出るとともに、空き店舗が増加し不景気である。 |
| | | 美容室(経営者) | 販売量の動き | ・3か月前はボーナス時期で商品の売行きが良かったが、今月は売上の伸びは悪く、懐具合が厳しい。 |
| | | その他サービス [介護サービス] (介護サービス担当) | お客様の様子 | ・客やその家族の話のなかで「もらうものは少なくなっているが出ていくものは多くなっている。」「日本はどんどん住みにくくなっている。」など経済的な意味で生活に不安や否定的な意見がちらほら聞こえてくる。 |
| | 悪くなっている | 商店街(代表者) | 販売量の動き | ・例年だと10月に入れば婚礼などの祭事で特需があるが、今年は低調である。 |
| | | 一般小売店 [茶](経営者) | 販売量の動き | ・今月に入って売上が大幅に落ち込んでいる。今年に入って今までで最悪で、弊社の予算を下方修正しなければならず非常に困っている。 |
| | | スーパー(店長) | 来客数の動き | ・食肉、特に単価の高い和牛の売上が減少傾向となっている。また、豚も国産から輸入へ購入が移っている。販売量も同じで単価減少の傾向が続いている。気温が高く推移したことから地物野菜の入荷が多かったが、野菜で葉物大型野菜での点数単価減少が続いている。 |
| | | 自動車備品販売店(経営者) | 販売量の動き | ・ますます客足が鈍くなり売上そのものが減少しており、相変わらず客単価も下降の一途となっている。 |
| | | テーマパーク (業務担当) | 来客数の動き | ・今期は集客を期待した週末の天候が不順であったことや、周辺地域の行事との競合が影響し、来園者数が伸び悩んでいる。都市部からの来園する際にかかる燃料代などコストが上昇していることも外出を控える一因となっている。 |
| 企業動向 関連 (中国) | 良くなっている | 輸送用機械器具 製造業(経営者) | 受注量や販売量の動き | ・自動車部品は好調で、新車も立ち上がる予定で忙しい。 |
| | やや良くなっている | 窯業・土石製品 製造業(総務経理担当) | 受注量や販売量の動き | ・月半ばまで生産は低調な見込であったが、月半ばより飛び込みの注文が重なりますますの生産量が見込める。 |
| | | 建設業(総務担当) | 受注量や販売量の動き | ・大型物件の計画が年度末にかけて具体的に動きだした。 |
| | 変わらない | 食料品製造業 (総務担当) | 受注量や販売量の動き | ・需要の伸びがない。 |
| | | 木材木製品製造業 (経理担当) | 受注量や販売量の動き | ・新設住宅着工数自体の数値に比較して、職人不足等での実工事の遅れがあるようで、出荷のタイムラグを感じる。 |
| | | 化学工業(総務担当) | 受注価格や販売価格の動き | ・依然として円高の影響を強く受けている。競争力の低下等収益に大きく影響している。 |
| | | 電気機械器具製造業 (総務担当) | 受注量や販売量の動き | ・例年10月に入ると年末を見込み受注量が増加するパターンであるが、その動きが今年は鈍い。 |
| | | 輸送業(支店長) | 受注量や販売量の動き | ・会社関係の小口は回復してきたが、個人市場の動きが鈍い。 |
| | | 通信業(営業担当) | 受注量や販売量の動き | ・受注量は横ばいで、既設の設備の更改でなく継続利用など設備投資を抑えられている。 |
| 金融業(自動車担当) | | 取引先の様子 | ・自動車メーカーでは、オセアニア地区が堅調だが、中国での反日影響で主力車の販売・生産が激減している。欧州も不振で、全体の操業度は前年比マイナスで、円高もあり輸出採算も厳しい。 | |

| | | | | |
|--------------|-----------|----------------------|--------------|---|
| | | 金融業（営業担当） | 取引先の様子 | ・多くの業種の企業と取引があるが、業況が低位横ばいの企業が多い。小売業、サービス業などの最終ユーザーを対象にしている企業についても同様であり、消費者の節約志向に変化はないが、一定の最低限に近い消費を行っている様子がうかがえる。 |
| | | 不動産業（総務担当） | それ以外 | ・来客数・成約件数は先月と比べあまり変わらない。 |
| | | 会計事務所（職員） | 取引先の様子 | ・どの業種も相変わらず業績が低迷している。昨年と比較して売上高が伸びているところはほとんどない状況と言っている。特にサービス業にその傾向がある。 |
| やや悪くなっている | | 食料品製造業（総務担当） | 受注価格や販売価格の動き | ・販売価格の下落が止まらない状態であり、条件面でも厳しい状況が続いている。 |
| | | 化学工業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・自動車関連部品を供給している取引先からの受注量の下方修正が増加基調にある。 |
| | | 鉄鋼業（総務担当） | 受注価格や販売価格の動き | ・欧州危機等、世界的に景気下降傾向による悪循環の様相が続いている。 |
| | | 非鉄金属製造業（経理担当） | 受注量や販売量の動き | ・製品により好不調はあるが厳しい取引先が多くなっている。 |
| | | 金属製品製造業（総務担当） | 受注量や販売量の動き | ・得意先の工作機械業界からの受注が芳しくない。3か月前に比べ、6割に留まっている。要因として、中国向けの案件が決まっていなかったことが挙げられる。 |
| | | 電気機械器具製造業（総務担当） | それ以外 | ・中国との関係悪化の問題で、部材の入手が遅れている。 |
| | | 輸送用機械器具製造業（経営企画担当） | 受注量や販売量の動き | ・中国向けの受注量が激減してきている。 |
| | | 輸送業（総務担当） | 受注量や販売量の動き | ・客の減産により受注が減っている。 |
| | | 通信業（営業企画担当） | 取引先の様子 | ・来年度の予算計画で現状の通信費の見直しを検討する客が製造業を中心に増えている。 |
| | | 広告代理店（営業担当） | 受注量や販売量の動き | ・受注先からの依頼が全体的に減少傾向にあるため、やや悪い状況に移行している。 |
| 悪くなっている | | 農林水産業（従業者） | それ以外 | ・9月と6月を比較すると水揚げ数量257トンの減少、水揚げ金額1億3082万円の増加である。9月単月前年比では水揚げ数量1200トンの減少で前年の45.3%、水揚げ金額1億7700万円の減少で前年の72.1%であった。 |
| | | その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当） | 受注量や販売量の動き | ・多少円高はおさまったが、現状はあまり変わっておらず、商品価格の値下げ要請は強くなっている。 |
| | | 輸送業（業務担当） | 受注量や販売量の動き | ・大口客である取引先が9月下旬より急速に業績が悪化したため荷動きが大きく減少している。 |
| 雇用関連 (中国) | 良くなっている | - | - | - |
| | やや良くなっている | 求人情報誌製作会社（採用支援担当） | 求人数の動き | ・昨年以上に新卒採用をする企業が増えている。当社へも引き合いが増えている。 |
| | | 職業安定所（雇用開発担当） | 求人数の動き | ・新規求人数が前年比10%台の増加となっている。また、3か月前と比較しても10%の増加となっている。新規求職は3か月前と比較して17%の減少となっている。 |
| | | 学校〔大学〕（就職担当） | 求人数の動き | ・次年度に向けての求人活動が活発になってきている。 |
| | 変わらない | 人材派遣会社（社員） | 求人数の動き | ・10月より派遣法改正があったが、求人の状況は特に平年と変わらない。 |
| | | 人材派遣会社（営業担当） | 求人数の動き | ・有料職業紹介の受注・成約件数は順調に推移しているが、人材派遣に関しては、製造業の求人意欲が相変わらず鈍く横ばい状態が続いている。 |
| | | 人材派遣会社（営業担当） | 周辺企業の様子 | ・求職者数は増えているが、求人は減っている。 |
| | | 求人情報誌製作会社（サイト運営担当） | 採用者数の動き | ・2014年卒向け新卒採用意欲が昨年同時期と比べて上向いている。 |
| | | 求人情報誌製作会社（広告担当） | 採用者数の動き | ・3か月前と比較して、企業側の採用意欲が向上している動きがない。 |
| | | 職業安定所（産業雇用情報担当） | 求人数の動き | ・求人数は3か月前と比べ増えてきているが、パート、アルバイトなどの非正規雇用の求人の増加によるものである。 |

| | | | |
|-----------|---------------------------|---------|--|
| | 職業安定所（産業雇用情報担当） | 求職者数の動き | ・有効求人倍率は4か月連続で1倍を超えているが、求職者数が減少しているため、景気が上向いているわけではない。 |
| | 民間職業紹介機関（職員） | 採用者数の動き | ・求人の動きは多少活発化しているものと思われる。補充、増員含めコンスタントに求人依頼が入ってきている。ただ、当該エリア外（例えば関東、東海地区）からの求人も多く当該エリアの景気に関しては決して上向いているとは言い難い。 |
| | 民間職業紹介機関（人材紹介担当） | 周辺企業の様子 | ・中国との関係も影響している製造業の動きを見ていると、持ちこたえるための策を講じる企業が多く見られることから、全体的には横ばい傾向と思われる。 |
| | 学校〔短期大学〕（学生支援担当） | 求人数の動き | ・特に変化が見られない。 |
| | その他雇用の動向を把握できる者〔労働機関〕（職員） | 求人数の動き | ・求人は、飲食店の新規出店やスーパーの増員に伴う大量募集により飲食サービス業や小売業が前年比で大幅増となった一方、電気機械製造を中心とした基幹産業の製造業が低調なことから求人全体では横ばいで推移している。 |
| やや悪くなっている | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | 雇用形態の様子 | ・商店街などで長く続いている傾向だが、このところ家族経営的な地場の零細事業所で、倒産というより、事業を止め、閉鎖する事業所が目立って増えてきている。表向きは後継者がいないためという理由が圧倒的だが、経営不振で、息子さんには引き継がせたくないというのが実態となっている。 |
| | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | 雇用形態の様子 | ・大手電機メーカーの業績悪化に伴い、県内の大手下請企業では受注減を受け、人員削減計画で正社員の4分の1が希望退社している。 |
| 悪くなっている | - | - | - |